

特定非営利活動法人 日本免疫学会
平成 24 年度 Tadamitsu Kishimoto International Travel Award
研究発表報告書

申請者氏名	王 静	会員番号	0030533
申請者の所属・職名	大阪大学微生物病研究所免疫化学分野 特任研究員		
出席会議名	Keystone Symposia (Myeloid Cell: Regulation and Inflammation)		
発表論文タイトル	Neutrophil infiltration during inflammation is regulated by PILR α via modulation of integrin activation		

実施結果:

この度、Tadamitsu Kishimoto International Travel Award を賜り、誠にありがとうございます。岸本先生をはじめ、推薦者である荒瀬尚先生、そして選考委員、事務局の先生方に心よりお礼を申し上げます。私は 2013 年 2 月 19 日から 2 月 24 日まで、アメリカのコロラド州キーストンで開催された Keystone symposia に参加し、口頭発表およびポスター発表を行いました。

今回の大会のテーマは Myeloid Cell: Regulation and Inflammation であり、ミエロイド細胞（主に好中球、単球、マクロファージ）の恒常性の維持、あるいは感染やがんなどの病的な状態での応答などに関連する興味深い発表がありました。特に、近年急速に解明が進んだ単球マクロファージの分化由来に関する研究発表も多くなされました。

今回私は、Myeloid Cells during Inflammation のセッションにおいて、自身の最新の研究成果について発表しました。好中球は炎症反応において最前線に働く細胞として、好中球が炎症部位の浸潤を制御する新たな分子の同定およびメカニズムについて報告しました。発表後、多くの質問やコメントがあり、活発な討議を行いました。また、後日のポスターセッションにも、たくさんの参加者がポスターに訪れ、有意義な discussion を行いました。

また、学会が終了後の 3 月 2 日までに、米国 Saint Louis の Washington University の Marco Colonna 博士とカナダ University of Calgary の Paul Kubers 博士の研究室に訪問し、留学するための interview を受けました。両研究室のメンバーとディスカッションし、それぞれの研究テーマや研究室の研究環境を確認することも出来ました。

今回のご支援により、国際舞台での研究発表とともに、多くの著名な研究者と交流することができ、重要な経験となりました。今回の経験を活かして、さらに研究に精進して行きたいと思っております。